

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が心身ともに健康を保つ	施策の成果指標又はムトス指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・予防接種率を上げることは、感染症による患者の発生や死亡者の減少をもたらし、市民の健康につながる。		
	後期に向けた課題	・接種率を上げるための周知方法の検討。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・平成20年度より、高齢者インフルエンザの予診票配布方法を個別郵送に変更したことで、接種率がアップした。 ・予防接種システムを整備し、未接種者の把握や接種勧奨を行った。		
	後期に向けた課題	・接種勧奨の時期や回数の検討。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	・集団接種実施による委託料の削減(二種混合、MR混合)		
	後期に向けた課題	・印刷物の外部委託を行わないなどの検討。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・市が実施主体である。 ・高齢者予防接種以外は受益者負担なし。		
	後期に向けた課題	・特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	・飯田医師会と常に情報交換をし、スムーズに事業が行われるよう配慮した。 ・集団接種の際は、各小中学校と連絡を取り合い、学校での適切な接種に配慮した。		
	後期に向けた課題	・これまで同様、飯田医師会と常に情報を共有していく。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・平成20年度～平成24年度に実施されているMR3期について、飯田市では集団接種を実施しているが、県内でも接種率が高く、評価できると考える。		
	後期に向けた課題	・近年、予防接種は法改正など変動が激しく対応が大変だが、関係機関と協力し、より良い方法を考え対応していきたい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--